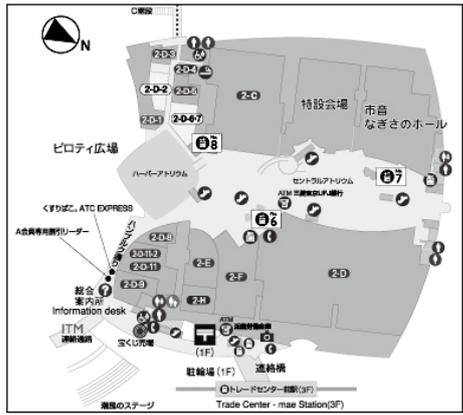


大阪市音楽団



©正木万博



〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10
 アジア太平洋トレードセンター ITM棟2F
 南港ポートタウン線「トレードセンター前駅」から5分

大阪市音楽団は、2014年4月の自立化に伴い、事務所をこれまでの大阪城公園内からアジア太平洋トレードセンター(ATC)ITM棟2Fへ移転しました。新事務所には練習場兼ホール「市音なぎさのホール」も併設されており、往年のファンと新しいファンの方々へ向けた「市音ワンダフルコンサート」を開催するなど、「一般社団法人 大阪市音楽団」として元気に活動を開始しました。

第108回定期演奏会では、市音史上最大となる編成で、「豊かな色彩感」と「大迫力のサウンド」をお贈りします。どうぞご期待ください!

大阪市音楽団 第108回定期演奏会



【指揮】
 シズオ・Z・クワハラ

はばたけ不死鳥! 新たなステージへ
 【日 時】2014年6月25日(水)
 19:00開演(18:00開場)
 【会 場】フェスティバルホール
 (地下鉄四つ橋線肥後橋駅4番出口直結)

【プログラム】
 アルメニアン・ダンス パート1 アルフレッド・リード
 アルメニアン・ダンス パート2 アルフレッド・リード
 バレエ・サクラ デイヴィッド・ホルジンガー
 バレエ組曲「火の鳥」1919年版
 イゴール・ストラヴィンスキー・ギイ・M.デュカー編

【入場料】
 BOX席:5,500円 S席:5,000円 A席:3,500円
 B席:2,500円 学生席(高校生以下):1,500円
 ペア席(A席相当):6,000円
 ※BOX・S・A席は当日500円増
 ※ペア席の販売は、チケットぴあ、ローソンチケット、音楽団のみ
 ※未就学児の入場不可

【チケット販売】
 フェスティバルホールチケットセンター
 Tel.06-6231-2221(営業時間10:00~18:00)
 チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード227-282)
 ローソンチケット Tel.0570-000-407(Lコード56919)
 大阪市音楽団フリーコール:
 0800-919-5508(月~土9:00~17:30)
 ※フェスティバルホール、チケットぴあ、音楽団でお買い上げの場合は座席をお選びになれます。
 詳しくは各販売所へお問い合わせください。

主催・お問合せ 一般社団法人 大阪市音楽団 後援:大阪市教育委員会
 フリーコール 0800-919-5508(月~土9:00~17:30) Fax.06-7668-5489
 ホームページ <http://www.shion.jp> E-mail:toiawase@shion.jp



おおさか歴史探訪 80

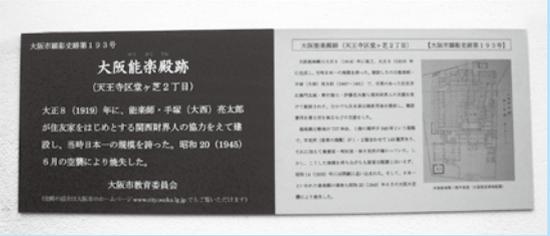
大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

大阪能楽殿跡 一堂ヶ芝にあった日本一の能楽堂一

能楽は江戸時代まで猿楽と呼ばれ、幕府や諸大名の庇護下にありました。そのため明治維新を迎えると一時衰微することとなりましたが、能を好まれた英照皇太后(明治天皇の嫡母)のために岩倉具視らによって復興がはかられます。明治24(1891)年に皇太后が行啓された造幣局にも、泉布観の日本庭園内に立派な能舞台がもうけられていました。

そうして大正8(1919)年、当時日本一の規模を誇る能楽堂が現在の天王寺区堂ヶ芝2丁目に出現します。「大阪能楽殿」がそれです。建設したのは能楽師・手塚(大西)亮太郎(1867-1931)で、交流のあった住友吉左衛門友純・野村徳七・伊藤忠兵衛ら関西財界人の支援を受け、起工から約3年を費やして完成させました。なかでも住友家は建設用地を提供し、建設費用を募る労を執るなどの支援をしました。能楽殿は敷地が737坪余、1階の建坪が345坪という規模で、平見所(客席の棧敷)が1・2階合わせて145箇所あり、それに加えて貴賓室・特別室・椅子見所が備わっていました。しかし、こうした規模を持ちながらも経営は順調とはいえず、昭和14(1939)年には閉鎖に追い込まれてしまいます。そして、日本一といわれた能楽殿の建物も昭和20(1945)年6月の大阪大空襲により焼失し、今現地でそれを偲ぶことのできるものとしては上写真の顕彰パネルしかありません。

今日、大阪の能楽界は大変活気があります。大概能楽堂能舞台(昭和10年)や山本能楽堂(昭和25年)は国の登録有形文化財の建造物となっています。梅雨の季節、しっかりと能楽鑑賞などいかがでしょうか。



「大阪能楽殿跡」の顕彰パネル

